

## 和歌山県立きのかわ支援学校 学校運営協議会

令和元年度 第3回【12月13日(金)】

出席者：委員7名、傍聴人3名

### 議題

- ①地域との合同避難訓練について
- ②きのかわ支援学校の児童生徒につけたい力
- ③社会に開かれた教育課程について

### 議論した主な内容

①10月26日(土)に実施された地域との合同避難訓練の詳細について教頭より説明を行った。子供の実態把握や地域の年配の方や車いすの方への配慮などコミュニケーションを取って共通理解を深めること、実際に起こった時を想定し役割分担をしておくこと、より一層行政機関や自主防災会との連携を深めておくこと、等の意見をいただいた。

②児童生徒につけたい力について、保護者、校区内コーディネーター連絡協議会、前回の学校運営協議会からいただいた意見と本校教員の思いを検討・整理して、つけたい力を6つのカテゴリーにまとめたことを報告した。この6つのつけたい力を授業づくりに結び付けていくには、小中高の各段階での重点項目を決めたうえで、①今の学びが自分の将来に結びついていることを意識させ、何をするか具体的に示すことが大切であること、②生徒の意見を繰り返し聞くこと、③年間の学校教育活動のねらいが6つの力のどれを重点的なねらいにしているかを意識すること、④学校評価シートにも記載していく等の助言を得た。また、学校においては、児童生徒の得意なことを認め、うまくできたことを肯定的に評価していくことを大切にしてほしいという意見もいただいた。

③社会に開かれた教育課程では、地域活動をすることで役に立つ自分を感じ自己有用感を育てることが大切で、これを強化するには企業、組織との連携の強化が必要で、こちらからも積極的な働きかけをしていけばよいこと、そのことで企業も支援学校の生徒を知る機会になる等のアドバイスをいただいた。

### 本校が考える児童生徒につけたい力の6つのカテゴリー

- ①基本的な生活力
- ②自己理解・他者理解
- ③社会生活力
- ④コミュニケーション
- ⑤チャレンジする力
- ⑥楽しみを見つける力

\* 次回第4回学校運営協議会 令和2年2月上旬

